

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年5月17日(2018.5.17)

【公開番号】特開2017-86120(P2017-86120A)

【公開日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2015-215341(P2015-215341)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月30日(2018.3.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 位置とその第 1 位置とは異なる第 2 位置とに少なくとも駆動可能な駆動部材と、  
その駆動部材を第 1 電力値以上の電力が供給されることで少なくとも前記第 1 位置から  
前記第 2 位置へと駆動させ、供給された電力値が第 2 電力値以下となった場合に、前記第  
2 位置から前記第 1 位置へと駆動させる駆動手段と、  
電力を供給する電力供給手段と、を有した遊技機において、  
前記駆動部材を前記第 1 位置から前記第 2 位置へと駆動開始する場合に、前記電力供給  
手段により前記駆動手段に供給される電力値を前記第 1 電力値以上の駆動開始電力に制御  
する供給電力供給手段と、  
前記電力供給手段により供給される電力により可動することが可能な複数の可動手段と

、  
その複数の可動手段を可動制御可能な可動制御手段と、  
遊技者が操作することが可能な操作手段と、  
その操作手段が操作された場合に、前記可動手段に対して第 1 可動パターンで可動させ  
る信号を出力することが可能な第 1 制御手段と、を有し、  
前記第 1 可動パターンには、前記可動手段を予め定められた待機期間で可動の開始を待  
機する待機動作が含まれているものであり、  
前記第 1 制御手段は、前記待機期間に前記操作手段が操作された場合には、前記待機動  
作をさせている前記可動手段に対して可動の実行を開始させる信号を出力するものである  
ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技球を発射することが可能な発射手段を有するものであることを特徴とする請求項 1  
記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0002】

パチンコ機等の遊技機において、ソレノイド等を駆動することにより、可動体（役物など）を待機位置から所定の動作位置まで動作させ、その所定の動作位置で保持するものがある（特許文献１）。

## 【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0004】

しかしながら、従来型の遊技機では、消費電力が増加するという問題があった。

## 【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0005】

本発明は、上記に例示した問題点等を解決するためになされたものであり、消費電力を抑えた遊技機を提供することを目的としている。

## 【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0006】

この目的を達成するために請求項１記載の遊技機は、第１位置とその第１位置とは異なる第２位置とに少なくとも駆動可能な駆動部材と、その駆動部材を第１電力値以上の電力が供給されることで少なくとも前記第１位置から前記第２位置へと駆動させ、供給された電力値が第２電力値以下となった場合に、前記第２位置から前記第１位置へと駆動させる駆動手段と、電力を供給する電力供給手段と、を有し、前記駆動部材を前記第１位置から前記第２位置へと駆動開始する場合に、前記電力供給手段により前記駆動手段に供給される電力値を前記第１電力値以上の駆動開始電力に制御する供給電力供給手段と、前記電力供給手段により供給される電力により可動することが可能な複数の可動手段と、その複数の可動手段を可動制御可能な可動制御手段と、遊技者が操作することが可能な操作手段と、その操作手段が操作された場合に、前記可動手段に対して第１可動パターンで可動させる信号を出力することが可能な第１制御手段と、を有し、前記第１可動パターンには、前記可動手段を予め定められた待機期間で可動の開始を待機する待機動作が含まれているものであり、前記第１制御手段は、前記待機期間に前記操作手段が操作された場合には、前記待機動作をさせている前記可動手段に対して可動の実行を開始させる信号を出力するものである。

## 【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0007】

請求項２記載の遊技機は、請求項１記載の遊技機において、遊技球を発射することが可能な発射手段を有するものである。

## 【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項1記載の遊技機によれば、第1位置とその第1位置とは異なる第2位置とに少なくとも駆動可能な駆動部材と、その駆動部材を第1電力値以上の電力が供給されることで少なくとも前記第1位置から前記第2位置へと駆動させ、供給された電力値が第2電力値以下となった場合に、前記第2位置から前記第1位置へと駆動させる駆動手段と、電力を供給する電力供給手段と、を有し、前記駆動部材を前記第1位置から前記第2位置へと駆動開始する場合に、前記電力供給手段により前記駆動手段に供給される電力値を前記第1電力値以上の駆動開始電力に制御する供給電力供給手段と、前記電力供給手段により供給される電力により可動することが可能な複数の可動手段と、その複数の可動手段を可動制御可能な可動制御手段と、遊技者が操作することが可能な操作手段と、その操作手段が操作された場合に、前記可動手段に対して第1可動パターンで可動させる信号を出力することが可能な第1制御手段と、を有し、前記第1可動パターンには、前記可動手段を予め定められた待機期間で可動の開始を待機する待機動作が含まれているものであり、前記第1制御手段は、前記待機期間に前記操作手段が操作された場合には、前記待機動作をさせている前記可動手段に対して可動の実行を開始させる信号を出力するものである。よって、遊技機の消費電力を抑制することができるという効果がある。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項2記載の遊技機によれば、請求項1記載の遊技機の奏する効果に加え、遊技球を発射することが可能な発射手段を有するものであるので、遊技者の興趣を向上できるという効果がある。